

女性委員会通信

204
2013.12.25

東京都港区新橋六 七 一 川口ビル六階
全国労働組合連絡協議会 女性委員会
TEL 〇三 五四〇三 一六五〇
FAX 〇三 五四〇三 一六五三

広がった繋がり！ 正規も非正規も 公務も民間も大企業も中小も 闘う女たち！

全労協女性委員会総会を開催

第23回女性委員会総会を11月22日、全水道会館中会議室で開催した。今回は「闘う女たち！大集合」がテーマ、女性委員会通信200号発行記念もあり、元幹事や多くの女性たちが参加してくれた。

第一部は全国一般東京東部労組メトロコマース支部の女性たちの闘いの記録「メトロレディーブルース」を上映。

非正規労働者がストを決行、闘うことでどんどん強くなっていく女性たちの表情や、心情をつづった替え歌「伊勢佐木町ブルース」のユーモア含んだ鋭い歌詞がとても印象に残った。笑いあり、涙あり？のビデオ、ぜひ色々な人に見てほしいものである。

第二部は女性委員会総会、柚木代表から一年間の経過報告・総括・方針提起を行った。女性委員会通信は年間12号発行し、記念すべき200号号外も発行した。均等待遇、男女平等が実現する法改正をめざした。

派遣法は「今後の労働者派遣制度のあり方に関する研究会報告」が出たが、当初の主旨とは全く異なり、「日本を世界で一番企業が活動しやすい国」作りに向け、派遣による常用代替に道を拓く内容であった。パート法の改定も遅々として進まず、均等法を実効ある法律

にするチャンスであったが、法改正はなく一部省令・指針の改定にとどまった。学習会は2回開催し「対談・女性たちにとっての憲法」（5月）、「STOP戦争への道」（10月）のDVDを見て学習交流した。

今後の方針では、以下のような様々な情勢を確認し、正規・非正規・公務・民間・大企業・中小企業が連帯して闘おうと提起した。

女性の現状は深刻な非正規雇用の増大で、非正規雇用者が正規雇用者を上回る傾向に歯止めがかかっていない。賃金面でも民間給与実態調査によると男女間の賃金格差は男性の53%、正規・非正規間では正規468万円に対し非正規168万円と34%だ。女性は200万円以下が55%を占め低賃金層に集中している。今後もしらしく生きられる労働条件を求めて闘い続けよう。

安倍政権は「戦争をする国」に向けた改憲・法制定を急ピッチで進めている。特定秘密保護法に続き、国家安全保障基本法が成立すれば、集団的自衛権を持つ国に移行する。これほど憲法を蔑ろにする法律はない。憲法の理念を守り平和な社会を目指すために今後も行動していこう。

沖縄の基地問題も深刻だ。オスプレイが配備され住民に不安と健康被害を与える日々を強要している。普天間の県内移設を認めず、基地撤廃を求めている。

未だ福島第一原発事故の収束もままならないのに、海外に原発を売り込む安倍政権の姿勢は国内外から批判を浴びている。再稼働を許さず、エネルギー政策の転換を求めていこう。

第三部は闘いの報告・懇親会。最初に11月3〜4日に行った福島合宿のSLAYDを上映報告した。未だに時間が止まった状態である立ち入り制限地域、帰還準備地域と立ち入り禁止地域は境界線一本で区切られているが、地面も



美味しい料理と飲み物で恒例の交流会

空気もつながっている。境目などないに等しい。帰りたいのに帰れない、帰れないのに帰ることをどんどん進められる。安全だと言われていたのに突然突きつけられた原発事故の恐怖・情報が届かない怖さなどに深く問われた学習の旅を紹介した。

静岡からは裁判が続く岡本さん、和解解決した宮田さん、徒党を組むのは嫌いだっただけど、一人一人が主役、会社の攻撃は皆で受けて皆で跳ね返し、同じ販売員の意識を変えていきたいと東部労組メトロコマース支部の後呂さん、労働条件を変えようと組合を作った全国一般メトロセルビス分会の皆さん、トレーラーの運転手として長時間労働や賃金大幅ダウンとたたかう三多摩の青伸グループ分会の橋本かおるさん、組合結成18年の全統一千葉市非常勤職員組合の野本さん、組合員の減少の中で頑張る女性ユニオンの谷さん、渡辺さん、石油連絡会、国労、東水労、元幹事のメンバーなど参加者全員から闘いの現状や率直な思い、女性委員会に対する思いが語られた。

新しい出会いも多くあり、「赤かぶ」の美味しい料理と差し入れの美味しいワインであっという間に時間が過ぎ、女性委員会幹事が全員再任、これから一年の方針が確認された。

「社会をカキ回すのは労働者の義務だ！」



**特定秘密保護法強行採決は許さない！
廃止に向けて行動を起こそう！**

安倍政権は7月の参議院選挙約にもない特定秘密保護法案を10月25日閣議決定・国会提出し、11月7日審議入りから1カ月で強行採決を繰り返し成立させた。日ごとにこの法案の問題点は各界に広がり、多くの反対声明もだされ、国会前に人々が集まり、廃案を求める声は日増しに多くなつた。

11月21日の日比谷野音の反対集会は開会前に参加者があふれ、門を閉じた。みんな、維新のすり寄り修正は法案の本質を変えず、逆に悪くした。全員が慎重審議や廃案を求めた福島公聴会の翌26日与党は委員会・衆議院本会議で採決を強行した。

舞台は参議院に移り、議員会館前で廃案・慎重審議を求める市民の声はさらに広がった。11月29日には自民党石破幹事長が大声でのデモを「テロ行為」とブログに書き込み、市民の当たり前の意思表示をも「テロ」ととらえる与党・体制側の思惑を示した。出足が遅かったマスコミ報道や批判も日増しに大きくなり、12月に入つて様々な団体が反対声明を上げ、4日の昼には6千人余の人が国会を包囲した。与党はアリバイのための公聴会を4日午後大宮で開き、共産党の除く野党は参加を拒否、与党の公述人はなんと自

私のお気に入り！

「クーッ！うまい！」
一日の終わりは晩酌。晩酌で一日が終わる。という事で、私のお気に入りのアサヒビールの「Off」を飲みます。23時までの間に350ml缶3本、「クーッ！うまい！」とが言いながら……。私は海上コンテナの運転手をしていますので出勤時の点呼でアルコールチェックを受けますが、これが問題なのです。

過去に何度かBooという音と共にチェックにひっかかり待機になった事もありまして色々な種類のビールを試し、プリンタイ85%オフ、糖質70%オフ、アルコール度数3.5%以上4.5%未満の「Off」にたどり着きました。それ以降チェックでBooという音を聞いてません。私に協力?!助けてくれている?!そんな「Off」が私のお気に入りです。



橋本かおる

衛隊出身者であった。5日には参議院の委員会で強行採決されたが、その議事録には採決の記録はない。

6日、本会議での採決を阻止しようと国会周辺は廃案を求める声が響いた。6時半からの日比谷野音集会は5時半過ぎに会場はいっぱいだった。緊迫する中で野党議員もたくさん参加し、この法案の問題点を明らかにした。急遽差し替えられた集会決議を満場の拍手で採択し、銀座と請願デモへ。会場外にも人があふれ、1万5千人の参加だった。夜9時に再開された本会議、中川特別委員会委員長の門責決議のあとついに秘

密法案の審議がはじまった。民主党他の議員が退場し、自民党は沖縄選出の島尻議員に賛成討論をさせた。普天間の県内移設を飲ませたのに続く踏み絵だ。共産党の反対討論では自民党は机をたたき、ヤジを飛ばして討論が聞き取れない、その時靴が弧を描いて演壇近くに落ちてきた。傍聴者の怒りだ。その後民主党議員が戻り、ついに採決、賛成130、反対82だった。市民の大きな反対の声を無視しての採決に笑いながら拍手する自民党議員の振る舞いにつすら寒い気がした。国会の外では本会議の音声が流れ、採決撤回、秘密保護法廃止のシュプレが響いていた。廃案・継続審議はできなかったが、安倍政権は人々の危機感に確実に火をつけた。すでに法案廃止に向けた動きも始まっている。怒りの火を大きくしていこう。(柚木康子)

この目で確認した福島の今！②

<女性委員会交流合宿から>

1日目のメインは教組会館での交流会。総勢26名の交流会となった。

問題だらけの放射能ゴミ焼却炉

焼却炉問題連絡会の和田さんがスライドを使って報告してくれた。

原発内では100ベクレル以上の汚染ゴミは厳重管理なのに、3.11以降8000ベクレル以下は市町村で処理できる「安全」な基準となった。8000ベクレル以上の除染ゴミや稲わらなど指定廃棄物を焼却し、減容化する目的で国が焼却炉を設置、環境アセスメントを逃れるため小型としている。国の直轄のため、自治体には何の権限もない。焼却後の灰は10万ベクレル以下に調整しセメント固化し管理型処分場に埋め立てる、10万ベクレル以上は中間貯蔵地へ。だが中間貯蔵地すら決まっていないうし、埋め立てたものが土壌や地下水を汚染する危険性もある。焼却炉にはバグフィルターがついていて放射能は回収されるというが、スライドに映った同型のフィルターにはいっぱいチリがついていた。

強行稼働された鮫川村の焼却炉は9日で爆発、原因は運転員のミスとしながら改修に7億3千万円かかるという。鮫川村の焼却炉の近くには水源林がある。

危険な除染労働が最低賃金で行われている！

何か役に立ちたいと北海道からきた男性は今働く除染管理業務の実態と、住民の希望と除染基準の祖語、除染ゴミは敷地に残ること、作業員を募集しても集まらないと報告。実際に除染労働で働く男性は、草を刈り、表土をはいで一時的に下がっても、草がまた出てくれば放射能は上がる、今も放射能を出し続ける原発をなんとかしないと除染は意味がない、1万円の危険手当の他は最低賃金、保険もない、日給月給で雨が降ると収入がない、1次2次と言いながら実質4次下請けとかまともな企業が少ないと実態を話してくれた。

今直ちに避難をと言われたらどうしますか

富岡町から郡山へ避難者は、爆発当時は16μSだった、今は8μS、でも自宅の室内で4μSもある、線量計は一家に1台のみでこれでは個人の線量が測れない、ガラスパッチを各人に配布すべきと。15000人の町民アンケートでは戻りたいのは14%、戻らないが43%、残りは判断できないと答えている。国は戻して住まわそうと言う方針だが、住民無視だと。

23日のつもりで郡山に来たが帰れない。その状況を是非知ってほしい。郡山に来たらそこから避難している人がいるところに今いる。福島というだけで嫌われる。ストレスや未来がないと自殺も多いと。

皆さん今直ちに避難をと言われたらどうしますか！という問いかけに避難者の深い悲しみを感した。(続く)

